

このファイルのフォーマットはなんですか？

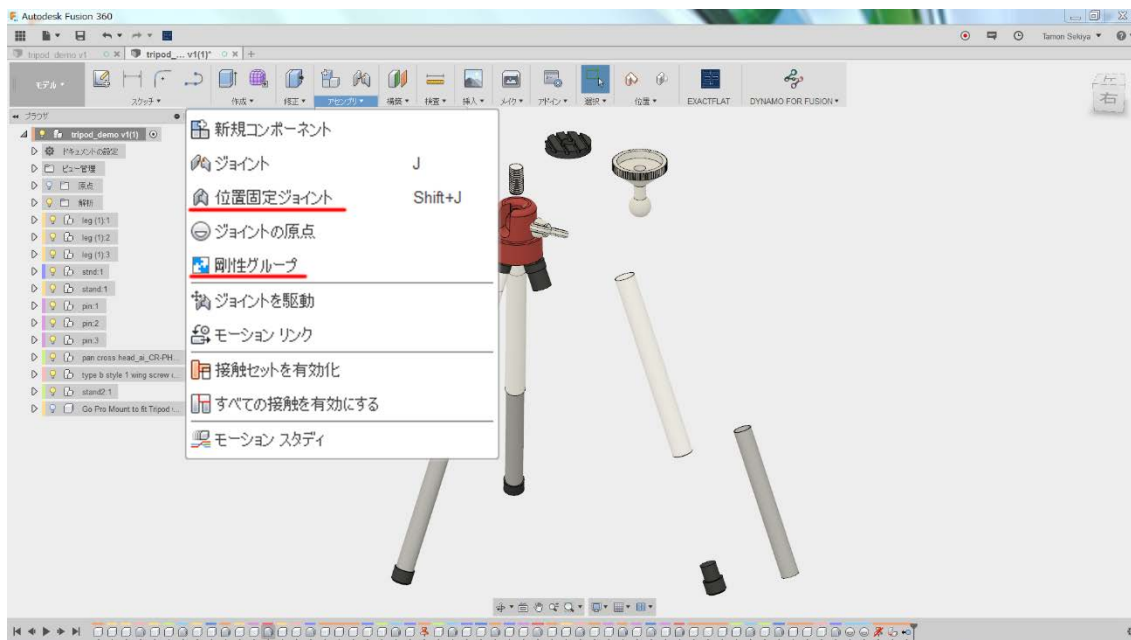
サプライヤーなど関係者とのデータのやり取りではじめに確認するのは、“ファイルフォーマットに関して”ではないでしょうか？ 大抵の場合は自分が期待していたフォーマットと異なっており、修正作業が発生することもしばしばあるかと思います。また、中間ファイルでは多くの場合で部品同士の関係性を設定し直す必要が出てきます。Fusion 360 では正しい機構の動きを設定しながらアセンブリする機能が用意されています。“ジョイント”機能です。

既存の CAD ではいくつかのメイトもしくは拘束機能で稼動部品の設定をしていましたが、Fusion 360 では“剛性グループ”と“ジョイント”のモーショントイプによる設定で対応できます。

“ジョイント”には 2 つのジョイントタイプが用意されています。1 つは“ジョイント”でもう 1 つが“位置固定ジョイント”です。“ジョイント”はボトムアップ設計に有効で、一方の“位置固定ジョイント”はトップダウン設計に非常に優位にご利用いただけます。“位置固定ジョイント”は既存の位置を変更することなく 2 つの部品の拘束関係を設定できる点はアセンブリ作業を効率化させます。

では、他の CAD データを取り込む際に、正しい位置関係でデータを取り込んだものの、それぞれの部品の稼動情報はないとします。ここで皆さんがやるのは“剛性グループ”と“位置固定ジョイント”です。

それでは、実際の流れをこちらの動画でご確認ください！



取り込んだアセンブリデータのアセンブリ